

序論)

先週の教会総会を経て、今日から正式に以前と同じように富川福音教会のメンバーが一つに集まって礼拝する形に戻りました。コロナ禍によって一部と二部に別れる礼拝の形式を3年続けてきましたが、こうして主にある家族が共に礼拝をできるということは、とても大きな恵みだと思っています。

私達の教会の礼拝の回復すらこれほど感謝なことから、このような回復が国家規模、世界規模でなされたら、それはどれほど素晴らしいことでしょうか。

今日は、主イエスキリストによってなされる回復について預言されている11章を共に学んでいきたいと思えます。

若枝なるキリスト)

まず1節、2節では回復を与えてくださるキリストがどのような存在かが書かれています。まずは1節を読みましょう。

11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

クリスマスの時に「エッサイの根より」という賛美を歌ったりしますが、エッサイの根株から出てくる新芽や、若枝というのはイエス様のことです。聖書のことをよく知っている人は、エッサイというのはダビデのお父さんのことで、「エッサイの根株から新芽が生え」というのは、ダビデの子孫としてキリストが生まれるということを示しているのを知っていると思います。しかし、この預言の意味はそれだけではありません。

そもそもみなさん、根株ってどのような状態のものでしょうか。「根株」とはこういうものですよね。切り倒されて根っこしか残っていない状態。それが根株です。イスラエルという国は、アッシリアとバビロン帝国に攻められて一度、滅ぼされなければいけません。それはまるでこの根株のように、幹となる部分が完全に切り倒されてしまったことを意味しています。しかし、【主】はその切り倒された根株から、新芽が生え、若枝がでるといわれたのです。

これは復活の象徴、滅びからの回復の象徴です。ダビデの子孫としてお生まれになった【主】イエスキリストは、滅びから新しい命を持つものとして回復させてくださるお方なのです。

そして、その【主】イエスキリストがどのような性質をもっておられるかという
と、2節。

11:2 その上に【主】の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、思慮と力の霊、【主】
を恐れる、知識の霊である。

とあります。キリストは【主】の霊を持っておられるお方です。当然、この【主】
の霊というのは聖霊様のことです。イエス様がバプテスマのヨハネから洗礼をお受
けになられたとき、上から鳩のような聖霊がくだってきて、父なる神様が「これは、
わたしの愛する子、わたしはこれを喜ぶ」と言われました。

つまり、回復を与えてくださるキリストというのは、いつも三位一体の神様とし
て行動されるお方ということです。

そして、特に【主】の霊である聖霊様が持っておられる特徴というのが、「知恵と
悟りの霊」「思慮と力の霊」「【主】を恐れる、知識の霊」ということになります。

「知恵と悟りの霊」

知恵と悟りの霊とは、簡単にいえば正しいさばきをすることができる霊というこ
とです。4節には「正義をもって弱い者をさばき、公正をもって地の貧しい者のため
に判決を下す」とありますが、【主】の霊とともにおられるキリストは、表面的な見
た目や噂によって裁きをするのではなくって、【主】の霊によって与えられた正しい
知恵と判断力によって、正しい裁きをされる。そのようなお方なのです。

「思慮と力の霊」

次の「思慮と力の霊」とは、正しい実行力をもっておられる霊ということです。
この「思慮と力」ということばは、別の言い方をすると「計画と力の霊」と訳す事
ができる言葉が使われています。みなさん、ものごとを実行するとき、行き当たり
ばったりや、その場の気分で何かをしようとした場合、うまくいくでしょうか。
うまくいく場合もあるし、うまくいかない場合もありますよね。

でも、【主】イエスキリストはそうではないのです。【主】の霊による正しい計画
と力によって、みこころの通りに間違いなく救いの計画を実行されるお方なのです。

「【主】を恐れる、知識の霊」

そして、『【主】を恐れる、知識の霊』というのは、「【主】を知り、恐れる霊」と
言い換えた方がわかりやすいかもしれません。【主】イエスキリストは自分勝手に事
を進められたわけではありません。寧ろ、誰よりも【主】なる神様のことを知って

おられ、誰よりも【主】なる神様を愛しておられたから、その【主】なる神様がたてられた救いの計画をいのちを賭けて実行されたのです。

この「【主】を恐れる、知識の霊」というのは、誰よりも【主】なる神様を知っておられて、愛しておられる。その霊がキリストにあったことを示しています。

このように【主】イエスキリストは、ものごとを正しくさばく判断力と、【主】の計画を確かに実行する力を持ち、誰よりも【主】を知り、【主】を畏れ敬う。【主】への愛をもって回復のみわざを実行されるお方なのです。

それが、エッセイの根株からでる新芽、若枝と呼ばれるキリストのご性質なのです。

キリストの具体的な御業)

ではこのキリストが具体的にはどのような御業をなされるのか。そのことが書かれているのが3節以降の箇所となっています。

この預言では【主】は4つの回復の御業をなされることが書かれています。

①弱者の回復

まず1つ目の回復。それは弱者の立場の回復です。

私達は、いままでのイザヤ書の預言を通して、【主】が弱いものが権力者に虐げられていることに対して、裁いてもなお治まらない怒りをもっておられたことを見してきました。事実、イスラエルの権力者たちは弱いものに対して不当な裁きをし、その財産を奪い取るようなことをしてきました。

でも、【主】の霊がとどまっておられるキリストは、先程も読んだ4節のように「正義をもって弱い者をさばき、公正をもって地の貧しい者のために判決を下す」お方なのです。これは不当なさばきをする者を懲らしめて、弱いもののために正義を回復させることを意味しています。

だから、私たちはこの世で弱者が虐げられている。そのような理不尽を目の当たりにしますけども、私達の【主】イエスキリストは、虐げられている者のために、正しいさばきを行い、正しい権利を回復させてくださることを信じるのが大切なのです。

みなさん、みなさんは弱者がいじめられている社会をみて諦めてしまっていないでしょうか。諦める必要はないのです。私達の【主】イエスキリストはそのような者のために、正しいさばきをしてくださるお方であることを信じるのが大切なのです。信じて祈ってください。「【主】よ。正しいさばきをしてください。真理を、

正義を回復させてください。」そう祈って【主】を期待しましょう。

②平和な自然の回復

次にキリストが与えてくださる回復は「平和な自然の回復です」6-9節を読んでみましょう。

11:6 狼は子羊とともに宿り、豹は子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜がともにいて、小さな子どもがこれを追って行く。

11:7 雌牛と熊は草をはみ、その子たちはともに伏し、獅子も牛のように糞を食う。

11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れした子は、まむしの巣に手を伸ばす。

とっても信じられないようなことが書かれていますね。草食獣と肉食獣が一緒にいて、さらに小さな子どもや乳飲み子も、恐ろしい動物と一緒にいることができるようになる。熊やライオンは草を食べるようになり、もうほかの動物を襲わないそうです。

みなさん、これ信じられますか？ 普通なら信じられないと思います。だって、肉食獣が草食獣を襲う。そういった食物連鎖は自然の営みであって、自然とは本来、そのように厳しいものだ。私達は教えられているからです。

でも、【主】の計画によるならば、私達が当たり前だとおもっていることは、当たり前ではないのです。なぜならば、聖書によるならば人が墮落する前のエデンの園がもともとそのような状態だったからです。動物だけでなく人もお肉を食べていませんでした。でも、この世界を任された人が罪を犯したことにより、人が人を殺すようになり、動物たちの中でも食物連鎖のようにいつも何かに襲われることを気にしなければいけない世界になったのです。

みなさん、今のわたしたちが見ている世界が、本来の世界のあり方ではないのです。今、私達が常識として見ている世界は、人の罪によって恐ろしい世界として変質してしまった世界なのです。私たちは、今の世界が【主】のみこころ通りの世界ではないということを理解していなければいけません。

ただし、もともとは、お肉を食べない世界だったからといって、最近はやりのヴィーガンと呼ばれる野菜しか食べない人たちになりなさい。と言っているわけではありません。そのようにお肉を食べなくても良い世界。動物が襲わない世界。平和な自然の世界というのは、【主】イエスキリストが再臨して、世界をそのように創り変えてくださらないと成り立たない世界なのです。だから、私達が一生懸命、お肉を食べないようにすればそれでいい。というわけではありません。

私達には世界の自然を平和な世界に変えることはできません。しかし、約束された救い主であるキリストには、その平和な世界を作ることができるのです。だから、ローマ人への手紙にはこのように書かれています。

8:19 被造物は切実な思いで、神の子どもたちが現れるのを待ち望んでいます。

被造物というのは、私達人間だけではなくて、神様に造られたすべてのもの。この世界すべてのことをさしています。世界は人の罪によって滅びの支配をうけるようになってしまったので、キリストによってその滅びの支配から解放されることを望んでいるのです。そして、キリストはそのように世界に平和な自然を回復してくださるお方なのです。

③世界平和の回復

そして、キリストが与えてくださる回復の3つ目は世界平和の回復です。10節を読みましょう。

11:10 その日になると、エッサイの根はもろもろの民の旗として立ち、国々は彼を求め、彼のとどまる場所は栄光に輝く。

「エッサイの根はもろもろの民の旗として立ち」というのは、世界の諸国民がキリストを自分たちが仰ぐべきお方として見上げるようになる。ということです。このキリストによって諸国民は一つにまとめられていくのです。

④平和なイスラエルの回復

そして、キリストが与えてくださる最後の回復、4つ目の回復は「平和なイスラエルの回復」です。11節、12節は世界中に散らされたイスラエルの民。その中でも【主】の民として残すように決められた残りの民たちが、世界中から【主】のところに集まるようにされることが書かれています。読んでみましょう。

11:11 その日、主は再び御手を伸ばし、ご自分の民の残りの者を買取られる。彼らは、アッシリア、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シンアル、ハマテ、海の島々に残っている者たちである。

11:12 主は国々のために旗を揚げ、イスラエルの散らされた者を取り集め、ユダの追い散らされた者を地の四隅から集められる。

これはアッシリアやバビロンによって散らされた民が、ペルシャの王キュロスによってイスラエルに戻ったことや、西暦70年にローマ帝国によるエルサレム破壊によって世界に散らされたユダヤ人たちが、1948年のイスラエル共和国樹立によって世界中から戻ってきていることを指しているのではなく、最終的に【主】によって残りの民として選ばれたイスラエル人たちが、【主】のもとに集まることを指しています。

キュロス王によるイスラエル帰還や、1948年のイスラエル共和国樹立は、その【主】のご計画の部分的な成就ではあるかもしれませんが、最終的な姿ではないのです。

みなさん、イザヤ書を理解するためには「残りの民」という【主】のご計画を理解しなければいけません。最終的に【主】の民として集められるのは、血筋がイスラエル人だからOKということではなくって、【主】のめぐみによって残りの民として買い取られた人たちが、集められるのです。

そして、そのようにして集められたとき、そのイスラエル人の中にある敵意はなくなります。13節を読みましょう。

11:13 エフライムのねたみは去り、ユダに敵する者は断ち切られる。エフライムはユダをねたまず、ユダもエフライムを敵としない。

エフライムとは北イスラエル王国のことで、ユダとは南ユダ王国のことです。ソロモン王以降イスラエルが北と南に分けられてから、2つの国の間には憎みねたみがありました。でも、【主】が本当のイスラエルとして集められた時、その何千年にもわたる憎みねたみの隔たりは取り払われるのです。

そして、イスラエルを回復させてくださる【主】は、それを邪魔する一切の働きを取り除かれることが14-16節の部分に書かれています。

11:14 彼らは西の方、ペリシテ人の肩に飛びかかり、ともに東の子らからかすめ奪う。彼らはエドムとモアブにも手を伸ばし、アンモン人も彼らに従う。

11:15 【主】はエジプトの海の入江を干上がらせ、また、その焼けつく風の中で御手をその川に向かって振り動かし、それを打って七つの水無し川とし、履き物のままで歩けるようにする。

11:16 残されている御民の残りの者のためにアッシリアから大路が備えられる。イ

イスラエルがエジプトの地から上って来た日に、イスラエルのために備えられたように。

1 節、1 節を、こまかくは説明しませんが、神様は海を割ってイスラエルをエジプトから脱出させたときのように、残りの民が【主】のもとに集まるために、それを邪魔する川を干上がらせて、大路を備えられる。とされています。

キリストは【主】の民が、【主】のもとに凱旋するための道をしっかり用意されるのです。そして、その道こそが【主】イエスキリストなのです。

まとめ)

みなさん、【主】イエスキリストは【主】の霊をもっておられるお方であり、正しくさばく力と、実行力と【主】への愛をもっておられるお方です。

そして、そのキリストは、弱者の回復、平和な自然の回復、世界平和の回復、そして、イスラエルの回復を与えてくださるお方なのです。

みなさんは、そのことを信じられますか。弱いものが社会的に強いられている世界。弱肉強食が当たり前の世界、国と国とがいがみ合っている世界。イスラエルが世界の火薬庫なんていわれている世界。そういった世界の現状をみるときに、

キリストが、弱いものの立場を回復し、食物連鎖をなくし、世界平和を与えてくださるなんて、信じられないかもしれません。

でも、信じましょう。みことばはこのあり得ないぐらいの平和の回復を私達に約束してくださっています。【主】を愛し、【主】の霊をもって、救いのみわざをなされるキリストは、この回復を私達に与えてくださるのです。

信仰をもって、キリストの回復を信じて期待して、祈りもとめていきましょう。